

直に焚き得るは便利なりとす。

九日行程約十里。沙爾札克臺サルルチャクタイ或は什納札シナチャに着す本日亦初めは緩徐なる上傾斜路なるも、之を昨日に較ぶれば稍々急なりとす、且つ短距離の二、三坂ありて、遂には山路の實態を現じ、水なき溪谷屈折多く、兩側の山高きは比高八十米突に出て一般四五十米突の間を出入す。此間處として、殆んど哈薩克あらざる無きが如しと雖も、一たび涸水すれば彼等は直に四散すと。

十日廟兒溝ミヤオルコウ即ち烏土布拉克臺ウトルブラクタイ坤都倫クンドリンを経て行程約二十二里、雅瑪圖臺ヤマトタイに宿す。是日西北の風強く、雪さへ加はりしも積むに至らず。什納札、坤都倫間は谷寛く坂路緩に處々良好の牧場ありて、現に馬、牛、羊を放養せり。地形は坤都倫に近づくに隨ひ降坂少しく急、更に坤都倫を過ぎ其直北の時を登るには坂愈々急、谷益々狭く、之を越ゆれば谷稍々開け雅瑪圖に及んで始めて開濶なり。途中四川より塔爾巴哈臺に送る磚茶の大車數臺を見る。又當地より八日の行程、直に伊犁に入るの捷路あり。

## 二、人畜行列の一奇觀